

フクシマ連帯キャラバン報告書

全港湾日本海地方境港支部 常盤洸斗

今回福島連帯キャラバンに参加させて頂き、福島の復興状況又福島第一原発事故に関する現状をフィールドワークを通じて直に知る事が出来ました。

初日に団結式を行い、この福島連帯キャラバンにかける思いを全員で確認しあい団結を行いました。

2日目には伝承館、東京電力廃炉資料館の視察又請戸小学校、慰霊碑見学を行いました。

この視察、見学を通して福島第一原発事故が如何に人災でこの災害が無ければ助かっていたかも知れない命があったのだと感じ、如何に原子力発電所が不必要を感じました。

3日目は帰還困難避難区域に住まわれていた方々の家を見学させて頂き、意見交換を行ないました。原発事故の生の声を聞き、如何にメディア報道が部分的な物であり、復興が進んでないのだと物凄く感じました。

最終日は福島駅前で街宣活動、署名活動を行い微力ながら福島県の為に行動させて頂きました。その後、福島県民集会に参加し、この福島連帯キャラバンに参加した意味を再確認しました。

最後に福島連帯キャラバンに参加させて頂き、如何に復興が進んでおらず、原発の放射能のせいで地元に戻れて居ない又風評被害、差別を受けておられる方々居るのだという事を知れたと共に原発の近くにある境港も危険に晒されているのだと感じ、この事を組合員達に伝え、少しでも核の無い平和の日本の為に尽力して行きたいと思います。